

事務事業名		大船渡市農業まつり参画事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業	<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	01 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		
	施策名	02 地域特性を生かした農林業の振興				
	基本事業名	02 農業経営の安定支援		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 S40 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		
根拠法令				予算科目 会計 款 項 目 事業 01 06 01 02 00(旧07) 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)		
所属	部課名	農林水産部農林課		全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量(千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計(B) 0 トータルコスト(A)+(B) 0		
	課長名	菅原 博幸				
	係名	農政係	電話			27-3111
	担当者	大平 博光	内線			344
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) ・大船渡市農業まつりは、昭和40年から、「農業への理解と関心を高め、市民とのふれあいを深めながら市農業の発展を図る」ことを目的に毎年開催(平成23から28年度は休止)されており、それに対し、負担金及び人的支援を行う事業。 ・農業まつりの主催は、大船渡市農業まつり実行委員会で、構成は市農協、市、市農業委員会、農業改良普及センター、岩手県農業共済組合。 ・市は、実行委員会に対し運営費の負担金を支出するとともに、構成団体としてまつりの運営に参画し、実行委員会への出席、まつりの準備、まつり当日(2日間)の運営支援等を行っている。 ・事業費は、実行委員会の運営費に対する負担金として支出される。						

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 大船渡市農業まつりは、新型コロナウイルス感染症の対応が難しいことから、書面決議により中止となった。 今年度計画(今年度に計画している主な活動) 大船渡市農業まつりを開催する予定であり、実行委員会に対し負担金を拠出する。		名称 単位 ア 実行委員会の回数 回 イ 農業まつり準備日数 日間 ウ 農業まつりの開催日数 日間	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・大船渡市農業まつり実行委員会 ・市民		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 実行委員会加入団体数 団体 キ 市の人口(各年度3/31現在) 人 ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・大船渡市農業まつり実行委員会に対し、負担金の拠出等まつりの支援を行い、円滑な運営できるようにする。 ・魅力あるまつり運営により、多くの市民が来場し、農業への理解と関心を高めるとともに農作物の販売等により農業の発展を図る。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 来場者数 人 シ 来場者数/市の人口 % ス 売上額 千円	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・安定した農業経営。			

(2) 総事業費・指標等の推移

投入量	事業費	財源内訳	単位	年度							
				27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	元年度(実績)	2年度(実績)		
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		一般財源	千円	0	0	0	100	100	0		
		事業費計(A)	千円	0	0	0	100	100	0		
人件費	正規職員従事人数	人	0	0	7	7	7	1			
	延べ業務時間	時間	0	0	32	32	32	3			
	人件費計(B)	千円	0	0	128	128	128	12			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	128	228	228	12			
⑤活動指標	ア	回	0	1	2	2	2	0			
	イ	日間	0	0	2	2	2	0			
	ウ	日間	0	0	2	2	2	0			
⑥対象指標	カ	団体	6	6	6	5	5	5			
	キ	人	38,167	37,633	36,933	36,234	36,234	34,796			
	ク										
⑦成果指標	サ	人	0	0	18,000	11,000	25,000	0			
	シ	%	0.00	0.00	48.74	30.36	69.00	0.00			
	ス	千円	0	0	403	589	358	0			

事務事業ID	0494	事務事業名	大船渡市農業まつり参画事業
--------	------	-------	---------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	大船渡市農業まつりは、昭和40年から、「農業への理解と関心を高め、市民とのふれあいを深めながら市農業の発展を図る」ことを目的に毎年開催されている。(震災後平成28年度まで中止)
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	当市は耕作放棄地の割合が高く、有効活用が望まれているが、まとまった農地が少なく、農業の振興を妨げている。また、農業経営の従事者の高齢化が顕著であり、後継者不足も解消の見込みが立っていない。こうした状況の下、農家や市民に農業に対する前向きな、明るいイメージを浸透させるためには、農業まつりなどの機会を大切に、産業としての重要性を市民等にアピールする必要がある。震災が発生した平成23年度以降は、会場等の手配ができないこと、実施体制が整わないことなどから開催を見送っていたが、平成29年度に7年ぶりの開催となり、その後も継続して開催していた。令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の流行という、不測の事態があり、農業まつりは中止となった。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	生産者や農業関係者が市民と直に触れ合える貴重な機会であり、市の農業活性化のために、今後とも継続するよう、市民や農業関係者から求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 農業まつり等の機会を利用して、農業への理解と関心を高め、地場産品の普及に努めることは、将来的に市農業の発展につながり、農業振興(豊かな市民生活を実現する産業の振興)が図られることから、政策体系と結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 市は、実行委員会の一員として、また、農業振興を率先して推進する立場から、広く市民から親しまれている本事業へ積極的に関与する必要がある。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 対象は、補助対象となる実行委員会と市民全般であることから、妥当と考えられる。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 震災前、来場者数は4千人程度で推移。市産業まつりと共催する等、開催の方法等を見直し・工夫することにより、より多くの市民の来場が見込まれる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市の農業振興の推進を阻害する恐れがある。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最低限の負担金を支出としている。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 実行委員会の構成員として、実行委員会会議出席やまつりの準備、当日のまつり運営にかかる最低限の人件費のみであり、削減できない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市の費用負担は、事業費全体の数パーセントに過ぎず、費用のほとんどは、売上げ収入及び市農協の負担で賄われており、適正な負担配分となっている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止 来場者にとって、魅力あるまつりとなるような見直し・工夫が求められている。	(2) 改革・改善による期待成果	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上	●		維持		×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上	●																			
	維持		×																		
	低下	×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
・産業まつりと同じ場所で開催し、今後も継続して開催する必要がある。																					

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	震災以降中断していた農業まつりを29年度より再開した。市農業の振興のため、当面は市の負担金については現状維持とするが、必要に応じて検討協議していく。